

社会資本総合整備計画書

(石川県かほく市)

平成29年	3月24日	提出
平成30年	1月15日	提出(第1回変更)
令和 1年	12月16日	提出(第2回変更)

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年10月29日

計画の名称	かほく市の安全で安心・魅力ある公園整備の推進（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）							重点配分対象の該当					
交付対象	かほく市												
計画の目標	<p>うのけ総合公園は、かほく市地域防災計画においては緊急避難場所に指定されており、大規模災害時にはヘリコプター等が離着陸する重要な防災要率を備えた公園であるが、既存照明施設や公衆トイレ等の老朽化が著しく避難場所として十分な機能を発揮できない状況にある。復旧のための資機材や生活支援物資の集積・配送拠点となる防災公園として、円滑な活動ができるよう、また、避難者の安全確保のためのバリアフリー園路や多目的広場等の再整備を行う。</p> <p>更には、主要地方高速道・津幡線の全線開通によりアクセス性が向上し、防災拠点性が高まることから、既存施設の更新を行うことで防災施設としての機能強化を図る。</p> <p>また、公園施設長寿命化計画の見直しを行い、公園施設の改築を実施し、市民にとって安全・安心で魅力ある公園を整備する。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	528	A	528	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H28当初	中間目標値	最終目標値 R3末
1	緊急避難場所であるうのけ総合公園における防災活動拠点となる広場の分散確保（野球場・多目的広場）。野球場の周辺には、活動のためのバリアフリー園路を設ける。 防災活動拠点等の広場確保量	10500㎡	㎡	12000㎡
2	令和3年度までに、7箇所において公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改修を行い、健全な公園施設を22%（H28当初）から60%（R3末）にする。 公園施設長寿命化計画に基づき、長寿命化対策工事を行った公園施設の割合を算出 長寿命化計画に基づき、改築等を行った公園施設/長寿命化計画に基づき、改築等が必要な公園施設	22%	%	60%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
かほく市長寿命化計画に基づき実施される要素事業：A12-002、A12-003												

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 滝湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	かほく市	直接	かほく市	—	—	都市公園等事業(うのけ総合公園)	公園施設再整備(16.3ha)	かほく市	■	■	■	■	285	1	—	
	A12-002	公園	一般	かほく市	直接	かほく市	—	—	かほく市都市公園安全・安心対策事業	長寿命化対策(7箇所における遊戯施設等の改築)、安全安心対策(3箇所における便所のバリアフリー化)	かほく市	■	■	■	■	225		策定済	
	長寿命化対策(189百万)、安全安心対策(36百万)																		
	A12-003	公園	一般	かほく市	直接	かほく市	—	—	かほく市都市公園安全・安心対策事業(5か年老朽)	健全度D判定等の緊要な対応が必要な公園施設の改築 N=2公園	かほく市				■	■	18		策定済
											小計					528			
											合計					528			

交付金の施行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	R1	R2	R3
配分額 〔a〕	70.0	16.5	24.0	39.0	
計画別流用増△減額 〔b〕	0.0	0.0	0.0	0.0	
交付額 〔c = a + b〕	70.0	16.5	24.0	39.0	
前年度からの繰越額 〔d〕	0.0	50.0	0.0	0.0	
支払済額 〔e〕	20.0	66.5	24.0	30.0	
翌年度繰越額 〔f〕	50.0	0.0	0.0	9.0	
うち未契約繰越額 〔g〕	50.0	0.0	0.0	9.0	
不用額 〔h = c + d - e - f〕	0.0	0.0	0.0	0.0	
未契約繰越率+不用率 〔i = (g + h) / (c + d)〕	71.0%	0.0%	0.0%	23.0%	
未契約繰越率+不用率が 10%を超えている場合その理由	国の平成29年度 補正予算により 追加内示があったため			国の令和2年度 補正予算により 追加内示があったため	



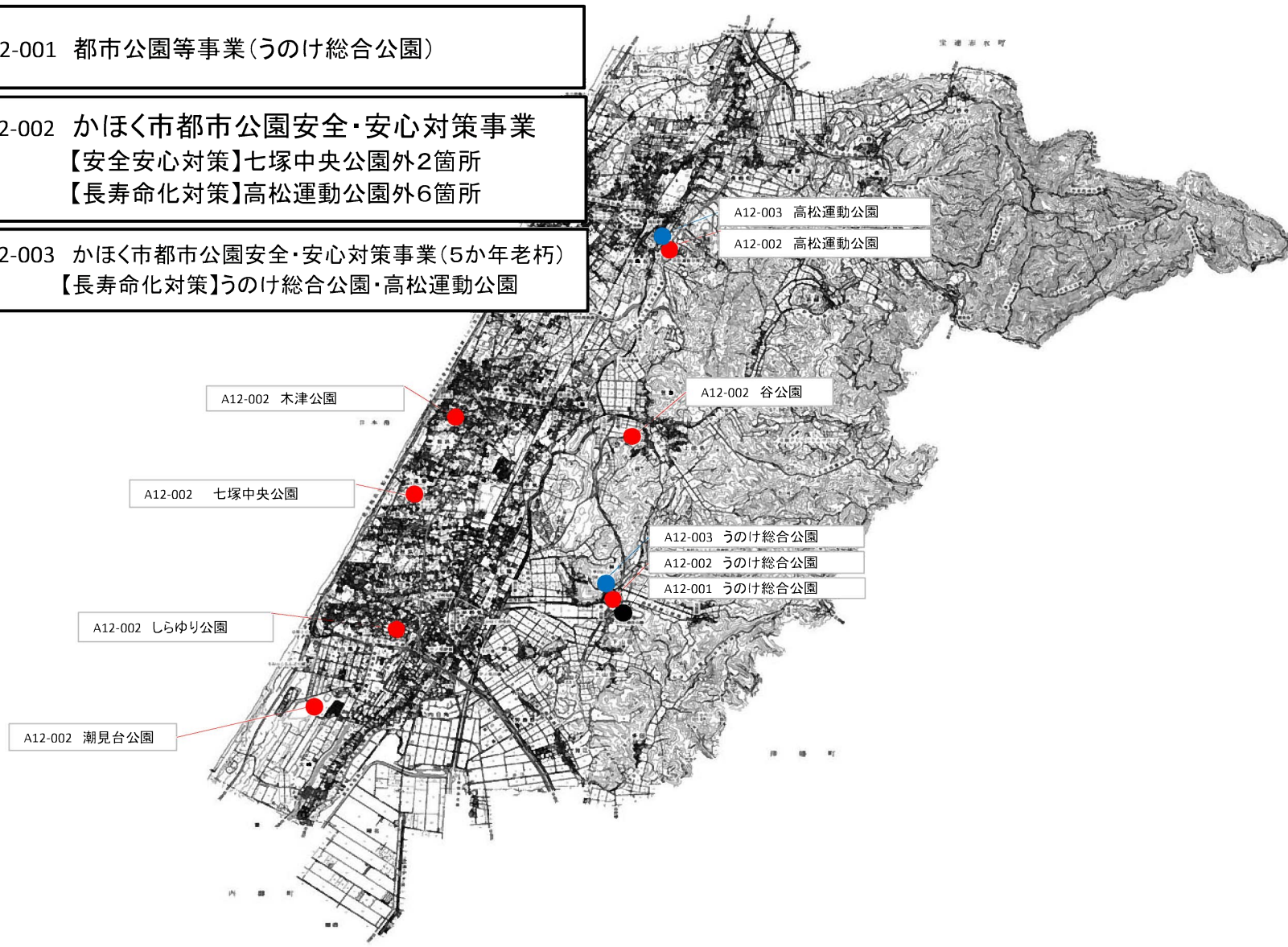
A12-001 都市公園等事業(うのけ総合公園)



A12-002 かほく市都市公園安全・安心対策事業
【安全安心対策】七塚中央公園外2箇所
【長寿命化対策】高松運動公園外6箇所



A12-003 かほく市都市公園安全・安心対策事業(5か年老朽)
【長寿命化対策】うのけ総合公園・高松運動公園



事前評価チェックシート

計画の名称： かほく市の安全で安心・魅力ある公園整備の推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みが妥当である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境が整えられている。（事業熟度、住民等の合意形成を踏まえてた事業実施の確実性）	○
I. 目標の妥当性 地元の機運がある。（住民、民間等の活動・関連事業のとの連携等による事業効果発揮の確実性）	○